

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 4 月 26 日 (2012.4.26)

【公開番号】特開 2010-251620 (P2010-251620A)

【公開日】平成 22 年 11 月 4 日 (2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2010-044

【出願番号】特願 2009-101387 (P2009-101387)

【国際特許分類】

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

G 0 6 F 1/20 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 7/20 V

G 0 6 F 1/00 3 6 0 C

G 0 6 F 1/00 3 6 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 8 日 (2012.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

背面板 1 1 7 は、例えば、所定の大きさの開口部が設けられていたり、格子状（網状）に形成されていたりする。つまり、背面板 1 1 7 は、少なくともその一部が開口している。これは、筐体内部の空気を筐体外部に排気するためのものである。筐体内部の前側より流れてきた気流は、背面板 1 1 7 に達すると、その一部または全部が、背面板 1 1 7 に設けられた開口部（格子目や網目を含む）を介して筐体外部に排気される。なお、この背面板 1 1 7 の開口率は任意である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

図 5 A に示されるように、気流調整門 1 1 4 の遮断部 1 7 1 乃至遮断部 1 7 9 のそれぞれに、拡張ユニットを所定の位置に固定する凸部である案内部 1 8 1 乃至案内部 1 8 9 が設けられている。拡張ユニット 1 1 5 が主基板 1 2 1 と電氣的に接続されるように設置されるとき、案内部 1 8 1 乃至案内部 1 8 9 は、拡張ユニット 1 1 5 を所定の位置に誘導する。より具体的には、例えば、拡張ユニット 1 1 5 - 1 が主基板 1 2 1 と電氣的に接続されるように設置されるとき、案内部 1 8 1 および案内部 1 8 2 は、拡張ユニット 1 1 5 - 1 の前方の部分を所定の位置（この案内部 1 8 1 と案内部 1 8 2 との間）に設置されるように誘導する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 7】

また、この気流調整門 1 1 4 の上部には、基板 1 9 1 および端子 1 9 2 が設けられている。さらに、図 5 B に示される、前面方向から見たときの気流調整門 1 1 4 の斜視図のように、基板 1 9 1 の下部には、端子 1 9 3 - 1 乃至端子 1 9 3 - 8 が設けられている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 2】

また、基板 2 1 1 には、電源用の端子 2 4 6 が設けられている。同様に、基板 2 1 2 には、電源用の端子 2 4 7 が設けられている。これらの端子 2 4 6 および端子 2 4 7 は、専用のケーブル等により、気流調整門 1 1 4 の端子 1 9 3 に接続される。つまり、基板 2 1 1 に実装される電子回路は、端子 2 4 6 を介して供給される電源により駆動する。同様に、基板 2 1 2 に実装される電子回路は、端子 2 4 7 を介して供給される電源により駆動する。